

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	鏡の間 : 横浜市立芹が谷小学校六年四組 M君の日記
Author(s)	飯住, 良夫
Citation	児童の言語生態研究 , 7 : 62 - 63
Issue Date	1975-05-24
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045086
Right	
Relation	



横浜市立芹が谷小学校
六年四組

M君
の日記

十月二日

おかしい?

「三角定規・分度器」蒸発事件発生

今日は、雨だった。体育のリレー大会も中止になってしまった。残念だ。
ところで、昨日、藤井正春氏から連絡があり、「三角定規・分度器」蒸発事件が発生した。藤井氏の三角定規と分度器が知らないうちに消えたらしい。警視庁とは全く関係のない特別捜査本部を設けた私立探偵藤井正春氏（被害者と同姓同名同一人物）は、あきすのうたがいが濃くなってきたことを今日この日記帳で明らかにした。しかし、今日になって藤井氏の友人で隣の富田寛氏の机の中に藤井氏のものと同定規と分度器が出てきた。念のため富田氏に机の中を調べさせてもらったが、三角定規は出てこなかった。となると、

何をか言わんや。

しりとりにして、

「動物だけね。」

と条件を出してきたので、その通りにやっていたところ、自分の番になって、種切れになって、困りはてて言うことには、

「ねえ。動物だけだと、元子、考え込んでしまふから困っちゃうな。動物だけっていうのやめようよ。」

師走の曇天の日の夕ぐれ。街の食堂の地下より地上へでる階段を、母親と一緒に昇りな

がら、

子「あやしいな。あやしいな。これは、あやしいぞ。」

と、言っている途端、階段を踏みはずした。母「ほら。ごらん。やっぱり、あやしかったね。」

子「ちがうよ。わたしは、外の空があやしいって言ったんだよ。」

見ると、あたりは、うす暗くなっている。母「ああ、夕方だからね。」

子「ふーん?!」
(以上、横浜・芹が谷小 飯住良夫報告)

「ママ、風邪ひいたの?」
「ううん。風邪ぎみなの。」
「?????。ね。風邪ぎみと風邪をひいたというのは、どちらがうの?」
「?!」
同じ質問を、六年生に発してみた。
六年生曰く
「風邪ぎみっていうのは、ビールスが、これくらいでね。(指と指で少しのすき間を作りながら)(そして腕をうーんと広げながら)風邪をひいたっていうのは、ビールスがこうなんだよ。」

犯人は、自分の所ではまずいと思ひ藤井氏の隣の机の中に分度器を入れ、富田氏を犯人に仕立てあげようとしたにちがいない。

しかし、藤井氏の机の中から犯人が「三角定規や分度器を取り出した」ということは、証拠がない限り認めることはできない。犯行を見た目撃者がいれば、事件解決の糸口がつかめるのだが……でも、「あきす」とも断定できない。藤井氏が落としたのかもしれない。そのうたがいの方が強い!!と僕は推理する。まちがえて持っていたとなれば、当然捜査も容易になってくるようだが、逆にみんなと同じような物を持っているのでよけいむずかしくなるような気もする。とにかく、この事件解決への道を進むのは、非常に困難なことだ。それを藤井探偵は、どう乗り切るのだろうか? では、また、あした。

十月三日

第二の疑問

今日、朝、学校に来て机の中を見たら、飯住先生からの「ことづけ」を書いた紙が入っていた。それをとろうとして、机の中の奥を見た瞬間、僕は、「ハッ」とした。

蒸発した三角定規とは断定できないが、とにかく三角定規が入っていた。僕は、「そんなバカな!!」と思って、一瞬自分の「目」を疑ったが、いくら見直しても、例の三角定規

である。持って見て、手でさわって持ったがやっぱり本物だ。あの時あれほど探してもなかったというのに、今は、パッと見ただけであるということがわかる。ここで本物ならば「事件解決!!」として、当然「特別捜査本部」も解散するわけだが、僕にとっては、まだいくつかの疑問点がある。

それは、

(1) 三角定規は、直角三角形と二等辺直角三

角形の二枚があり、蒸発したのは、直角三角形だが、今朝、机の中にあつたのは

(2) 昨日、帰りのしたくの時、確かに二等

辺直角三角形だつたのに、今朝来てみると、直角三角形が入っているということ。

以上だ。

そこで、先生に質問がある。

質問その1

先生が、「ことづけ」の紙を入れる時、例の三角定規は、入っていたか?

質問その2

もし入っていたとすれば、普通の直角形だつたが、二等辺直角三角形だつたか。

以上です。先生、よろしくたのみます。

この二つがわかれば、事件解決も容易になるかもしれない。しかし、僕の推理では、早

期解決への道は、よけい速くなったかも知れない。では、またあした。

先生より

君の机の中に、三角定規が入っていたか
どうか記憶がありません。あしからず。

十月四日

「ちきしょう」

ついに証拠もなかった。この事件も僕の見まちがひということ、解決せざるをえなくなった。「ちきしょう。」こんなことであるか!! 三角定規も分度器も、すべて手元に戻った。

しかし、やっぱりくやしい。これは、何かのまちがひであり、僕を「ワナ」に落とし入れようとしているのではないか? といつても証拠がなくては成り立たぬ。

そこで、僕は、新しい捜査の仕方をして、もう一度やりなおす。当然、特別捜査本部はそのまま解散などは、絶対にしない。

しかし、明日は、土曜日で、あさって日曜日だ。本日は、休みがない方が、捜査に、都合なので、月曜日に、**㊦**作戦行動を開始するかもしれない。

(横浜市立芹が谷小・飯住良夫教諭報告)